

回覧

# ♪～矢口が丘映画会 11月ご案内♪

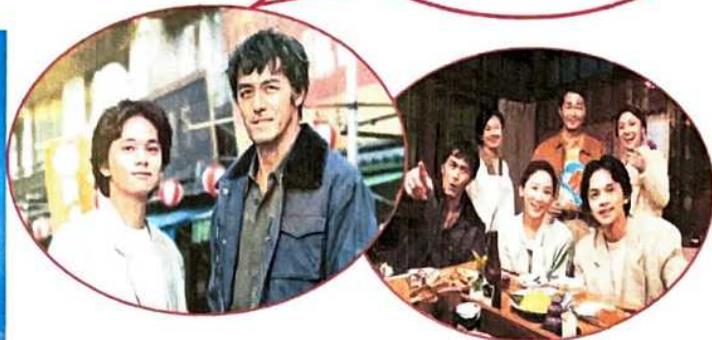
11月

日時 令和4年11月17日(木)

午後1時30分～

会場 矢口が丘集会所 洋室

幾度途切れても必ず  
つながる親子の絆を  
描き出す



【監督】瀬々敬久

【脚本】港岳彦

【原作】重松清

【主題歌】ゆず「風信子(ヒヤシンス)」

【出演者】阿部寛・北村匠海・杏・安田顕  
大島優子・濱田岳・宇梶剛士

【公開日】2022年04月08日

【配給元】KADOKAWA

幼い頃に両親と離別したヤスにとっ  
て、自分の家庭を築くことはこの上  
ない幸せだったが、……

重松清 永遠のベストセラー、親子の絆を描く感涙の名作、待望の初映画化

## あらすじ・みどころ

直木賞作家・重松清のベストセラー小説を、阿部寛と北村匠海の共演で実写映画化。

「糸」「護られなかった者たちへ」の瀬々敬久監督がメガホンをとり、幾度途切れても必ずつながる親子の絆を描き出す。

昭和37年、瀬戸内海に面した備後市。運送業者のヤスは愛妻の妊娠に嬉しさを隠さず、姉貴分のたえ子や幼なじみの照雲に茶化される日々を過ごしていた。

幼い頃に両親と離別したヤスにとって、自分の家庭を築くことはこの上ない幸せだった。やがて息子のアキラが誕生し、周囲は「とんびが鷹を生んだ」と騒ぎ立てる。

ところがそんな矢先、妻が事故で他界してしまい、父子2人の生活が始まる。親の愛を知らぬまま父になったヤスは仲間たちに支えられながら、不器用にも息子を愛し育て続ける。

そしてある日、誰も語ろうとしない母の死の真相を知りたがるアキラに、ヤスは大きな嘘をつく。これは、古き良き時代の物語にとどまらない。新たな時代への希望を予感させる《今、そして未来へ繋がる家族の絆の物語》。